

新規受託項目

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別なご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。
この度、下記項目につきまして、検査の受託を開始いたしますのでご案内申し上げます。

謹白



項目名

● total P1NP(1型プロコラーゲン-N-プロペプチド) (依頼コードNo.7689)

受託開始日 2014年8月4日(月) 受付分より

P1NPは、「1型プロコラーゲン-N-プロペプチド」の略称で、1型コラーゲン分子が前駆体の1型プロコラーゲンから生成される際にN末端側から切り離される蛋白質で、骨基質の殆どを構成している1型コラーゲンの量を反映します。

P1NPは骨形成マーカーとしての特異性が高く、骨形成をより早期から鋭敏に反映します。骨形成促進薬を用いて治療を始めたときに早いうちから測定値が大きく上昇してくる(早期の骨形成を鋭敏に反映する)ことがP1NPの特長であり、特に骨形成促進薬にあたる副甲状腺ホルモン薬(テリパラチド)の治療効果判定やモニタリングに適したマーカーと考えられています。

本検査は、従来のRIA法で測定するIntact P1NPがP1NPの三量体のみを検出していたことに対して、三量体と単量体の両方を検出します。しかし、血中での単量体は極めて少ないため、RIA法との相関は良好です。

裏面に続きます

株式会社 **ビー・エム・エル**

本社：〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-21-3

総合研究所：〒350-1101 埼玉県川越市的場1361-1

☎ 049(232)3131 FAX 049(232)3132

検査項目検索用
アプリ B-Book

Google play

Available on the
App Store



電子カルテはビー・エム・エル

Qualis
Medical Station

受託要領

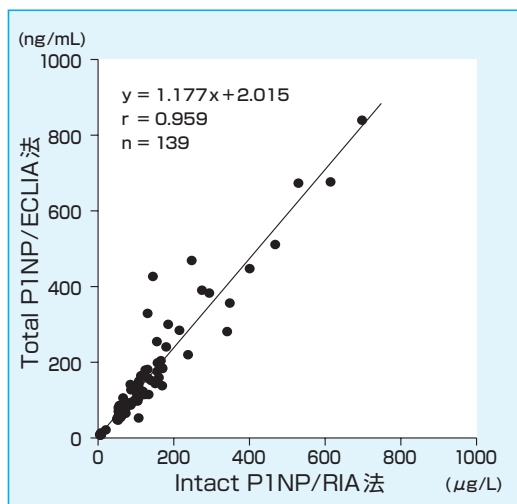
依頼コードNo.	7689
統一コード	5C120-0000-023-053
検体必要量	血清 0.3mL
容器	B-1→S-1
検体の保存方法	冷蔵
所要日数	2～3日
検査方法	ECLIA法
基準値	女性閉経前(30～44歳) 16.8～70.1 女性閉経後(45～79歳) 26.4～98.2 男性(30～83歳) 18.1～74.1
単位	ng/mL
報告桁数	小数第1位
検査実施料/判断料	170点/144点(生化学的検査(Ⅱ))
備考	ビオチンを投与している(1日の投与5mg以上)方からの採血は、投与後少なくとも8時間以上経過してから実施してください。

【検査方法の参考文献】 日高好博：医学と薬学 70, 357-365, 2013.

*当該検査の受託開始に伴い、Intact P1NP (依頼コードNo.1217)(検査実施料:168点)は平成26年9月30日(火)をもちまして検査受託を中止させていただきます。

Total P1NPとIntact P1NPの相関

〈全域〉



〈250ng/mL以下〉

